

第95期（平成12年度）決算の概要

株式会社 静岡銀行

利益の状況（連結）

利益の状況

	12年度	前期比	
	(億円)	(億円)	(%)
経常収益	2,911	297	11.4
経常利益	299	124	29.3
当期純利益	185	78	29.6

▶連結経常収益 前期比 +297億円増収

静岡銀行グループの経常収益は、静岡銀行での「その他経常収益」や「資金運用収益」を中心に前期比 +297億円増加して2,911億円となりました。「その他経常収益」の増加は、退職給付会計導入に伴う会計基準変更時差異処理のための退職給付信託設定益の計上および株式等売却益の増加等が主因となっています。

（経常費用は退職給付会計による会計基準変更時差異の一括処理費用342億円を計上したことを主因に、前期比 +421億円増加の2,612億円となりました。）

▶連結経常利益 前期比 124億円減益 連結当期純利益 同 78億円減益

退職給付会計による会計基準変更時差異の前倒し処理を主因とする経常費用の増加により、連結経常利益は前期比 124億円の299億円、連結当期純利益は同 78億円の185億円となりました。

連結対象会社(14社)

静岡経営コンサルティング(株)
静岡リース(株)
静岡コンピュータサービス(株)
静岡信用保証(株)
静岡デビットカード(株)
静岡キャピタル(株)
静岡ティーム証券(株)
静岡静岡浦代理店(株)
静岡地頭方代理店(株)
欧州静岡銀行
静岡総合サービス(株)
静岡モーゲージサービス(株)
静岡資産管理(株)
静岡ビジネスクリエイト(株)

利益の状況（単体）

(億円、%)

【静岡銀行単体】	12年度	前期比	
		増減額	増減率
経常収益	2,636	274	11.6
業務粗利益	1,275	111	8.0
うち資金利益	1,154	50	4.1
(債券償還損益除き)	1,188	15	1.3
うち役務取引等利益	117	0	0.6
うち特定取引利益	12	8	230.5
うちその他業務利益	7	69	111.3
(国債等債券関係損益)	3	44	93.5
一般貸倒引当金繰入額	39	25	176.7
経費	863	26	3.0
業務純益	374	109	22.6
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	413	84	17.0
臨時損益	87	35	67.9
うち退職給付会計導入変更時差異償却	342	342	-
うち退職給付信託設定益	174	174	-
うち個別貸倒引当金繰入額	190	24	14.8
経常利益	286	143	33.4
税引前当期利益	300	149	33.2
当期純利益	183	86	32.0

▶ 経常収益 前期比 +274億円増収

退職給付会計導入に伴う会計基準変更時差異処理のための退職給付信託設定益の計上や株式等売却益の増加等を主因として前期比 +274億円増収の2,636億円となりました。(経常費用は退職給付会計による会計基準変更時差異を平成12年度中に一括処理したため、処理費用342億円の計上などにより前期比 +418億円増加の2,350億円となりました。)

▶ 業務純益 前期比 109億円減益

経営合理化の進展による経費削減、特定取引利益の改善などの増益要因はありましたが、超低金利環境の長期化に伴う有価証券などの資金運用利回り低下による資金利益の減少、国債等債券関係損益の減少、一般貸倒引当金繰入額の増加などにより業務純益は前期比 109億円減少し374億円となりました。

▶ 経常利益 前期比 143億円減益

業務純益の減少、退職給付会計導入に伴う会計基準変更時差異の一括処理を主因として経常利益は前期比 143億円減少し286億円となりました。

▶ 当期純利益 前期比 86億円減益

経常利益が 143億円減少したことにより当期純利益は前期比 86億円減少し183億円となりました。

自己資本比率

▶ B I S 自己資本比率は 1 2 . 5 8 %

有価証券含み益等を含まない基本的項目であるTier のみで10.47%
Tier から税効果相当額を控除した中核自己資本比率でも9.36%と
B I S が定めた国際統一基準である8%をクリアしています。

連結ベース

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	前期比
Tier 自己資本比率	11.14	11.05	10.47	0.58
B I S 自己資本比率	13.69	13.94	12.58	1.36
中核自己資本比率	10.35	10.13	9.36	0.77

中核自己資本比率 = (Tier - 税効果相当額) ÷ リスクアセット

自己資本・リスクアセットの内訳

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	前期比
自己資本	6,252	6,519	6,068	451
Tier	5,090	5,166	5,050	116
税効果相当額	361	429	538	109
Tier	1,162	1,353	1,019	334
控除項目	-	-	1	1
リスクアセット	45,666	46,740	48,203	1,463
オンバランス	44,597	45,780	46,965	1,185
オフバランス	928	861	1,074	213
マーケットリスク相当額	141	99	164	65

株価低下による
有価証券評価益
の減少

時価会計に伴う
有価証券評価損
益のオバランス化
によるリスクア
セット
の増加

アセットクォリティ

▶リスク管理債権、金融再生法開示基準による不良債権とも総貸出金、総与信に占める割合は5%未満と低水準を維持しています。

リスク管理債権

(億円)

	12/3末	13/3末	前期比
破綻先債権額	316	230	86
延滞債権額	1,231	1,665	434
3カ月以上延滞債権額	4	7	3
貸出条件緩和債権額	185	372	187
リスク管理債権合計	1,736	2,274	538
総貸出金に占める割合(%)	3.37	4.41	1.04
担保・保証等によるカバー率(%)	87.58	88.91	1.33
部分直接償却を実施した場合	1,452	1,912	460
総貸出金に占める割合(%)	2.83	3.73	0.90
担保・保証等によるカバー率(%)	85.15	86.80	1.65

金融再生法開示基準の不良債権

(億円)

	12/3末	13/3末	前期比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	648	863	215
危険債権	902	1,034	132
要管理債権	188	379	191
金融再生法開示基準の不良債権合計	1,738	2,276	538
総与信に占める割合(%)	3.31	4.31	1.00
担保・保証等によるカバー率(%)	87.86	89.17	1.31
部分直接償却を実施した場合	1,454	1,914	460
総与信に占める割合(%)	2.78	3.65	0.87
担保・保証等によるカバー率(%)	85.49	87.12	1.63

13年3月末のリスク管理債権開示基準の見直しについて

延滞債権	債務者区分の判定基準を厳格化 (債務償還力など財務内容の改善に長期間を要するものは開示対象としました)
貸出条件緩和債権	条件緩和の判定基準を厳格化 (再建支援でないことが明確でないものは金利水準に拘わらず開示対象としました)

アセットクオリティ

不良債権処理額推移

(億円)

	9年度	10年度	11年度	12年度		13年度予想	
					前期比		前期比
個別貸倒引当金純繰入額	254	151	165	190	25	115	75
貸出金償却	3	3	2	0	2	1	1
その他の債権売却損等	3	-	-	4	4	30	26
不良債権処理額()	260	154	167	194	27	146	48
一般貸倒引当金純繰入額()	7	50	14	39	25	36	3
特定海外債権引当勘定繰入額()	1	1	2	1	1	-	1
貸倒償却引当費用(+ +)	266	205	179	232	53	182	50

償却・引当基準

【一般貸倒引当金】・・・残高 251億円

債務者区分	科目	予想損失率	引当基準
正常先債権	貸出金	1.173/1000	各債務者区分ごとに、債権の平均残存期間に対する過去3算定期間の貸倒実績率の平均値にもとづき、今後の一定期間における予想損失額を算出し一般貸倒引当金に計上しています。
	支払承諾		
要注意先債権	貸出金	18.520/1000	
	支払承諾	10.941/1000	
要管理先債権	貸出金	71.843/1000	
	支払承諾		

【個別貸倒引当金】・・・残高 643億円

債務者区分	引当基準
破綻懸念先債権	過去3算定期間の貸倒実績率の平均値にもとづき、今後3年間の予想損失率を算出し、分類とされた債権に予想損失率を乗じて、個別貸倒引当金に計上しています。
実質破綻先債権	・ 分類額全額を個別貸倒引当金に計上しています。
破綻先債権	

新会計基準の影響

➤ 退職給付会計

平成12年4月1日時点の会計基準変更時差異342億円（割引率、期待運用収益率ともに3.0%で算出）は退職給付信託の設定等により全額処理し、財務の健全性を維持。

12年4月1日時点における退職給付債務

退職給付債務 (退職金 + 企業年金) 1,069億円	年金資産 582億円
	会計基準変更時差異 342億円
	退職給付引当金 145億円

12年度中に全額処理済

うち退職給付信託設定による処理は
198億円
(退職給付信託設定益 174億円)

新会計基準の影響

➤ 金融商品の時価会計

- ◇ 「其他有価証券」についても12年度より時価会計を適用しました
- ◇ 金融商品の時価会計による期間損益への影響は軽微にとどまっています

(億円)

	簿価	時価	評価損益	評価方法	財務諸表への計上額	
					貸借対照表	損益計算書
有価証券等	16,846	18,546	+ 1,700			
売買目的有価証券	300	301	+ 1	時価法	-	金銭の信託運用損益 1
満期保有目的の債券	43	43	-	償却原価法	-	-
子会社・関係会社株式	66	66	-	原価法	-	-
其他有価証券	16,437	18,136	+ 1,699	時価法 (注)	有価証券(資産) 1,699 繰延税金負債(負債) 694 評価差額金(資本) 1,005	-
デリティブ (想定元本)						
ヘッジ会計適用	2,399	-	116	繰延ヘッジ	金融派生商品(資産) 1 繰延ヘッジ損失(資産) 117 金融派生商品(負債) 117 繰延ヘッジ利益(負債) 1	-
その他	37	-	2	時価法	-	金融派生商品費用 2

(注)其他有価証券の評価差額については「全部資本直入法」により処理しています。

減損会計に関する損益計算書への計上

	減 損 基 準	損益への計上額
株 式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末の時価が簿価に比べて50%以上下落したもの ・ 期末の時価が簿価に比べて30%以上50%未満下落し、期末前6カ月間の時価が一度も簿価相当額以上にならなかったもの 	(株式等償却) 27億円
債 券	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末の時価が簿価に比べて30%以上下落したもの 	-

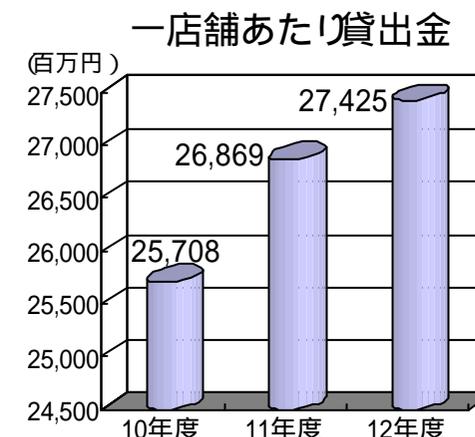
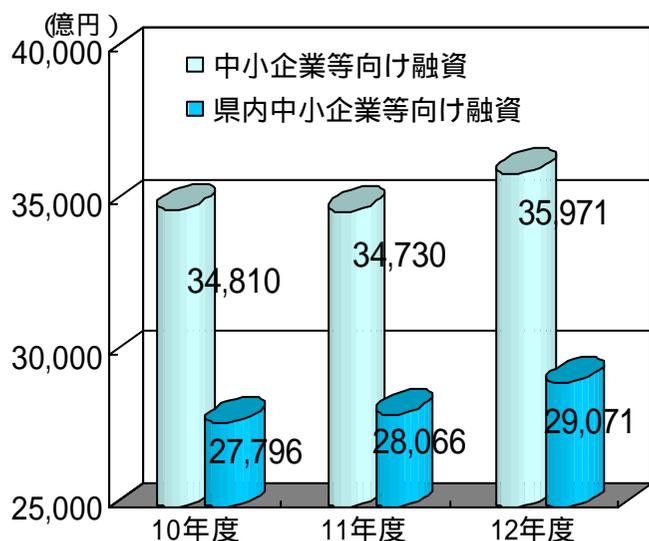
貸出金の状況

▶ 総貸出金平残は重点セグメントである静岡県内の中小企業向け貸出、消費者ローンを中心に増加しました。

(億円)

	10年度	11年度	12年度	前期比
総貸出金平残	50,132	51,052	51,287	235
中小企業等向け貸出金	34,810	34,730	35,971	1,241
うち消費者ローン	10,793	11,028	11,628	600
静岡県内貸出金平残	33,474	33,950	34,113	163
県内中小企業等向け貸出金	27,796	28,066	29,071	1,005
うち県内消費者ローン	8,821	9,070	9,624	554

中小企業基本法改正により、平成12年度より改正後の定義にて算出しております。



預り資産の状況

預金

流動預金を中心に総預金平残は前年度比
+1,245億円増加しました。

(億円)

	10年度	11年度	12年度	前期比
総預金平残	64,140	65,419	66,664	+1,245
静岡県内 預金平残	50,934	52,714	53,362	+648

個人預り資産の内訳

(億円)

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	前期比
個人預り資産 未残	42,891	44,121	45,586	1,465
円貨預金	42,169	43,303	42,737	566
投資信託	11	74	330	256
外貨預金	37	76	386	310
国債	673	668	2,133	1,465

投資信託

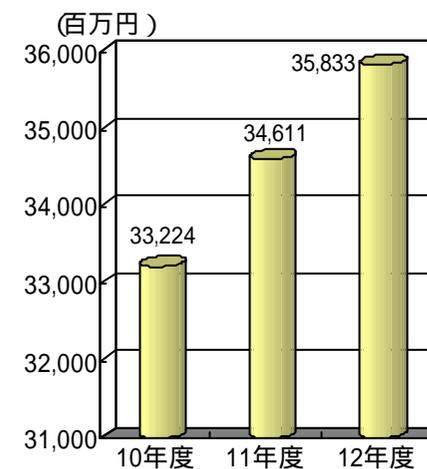
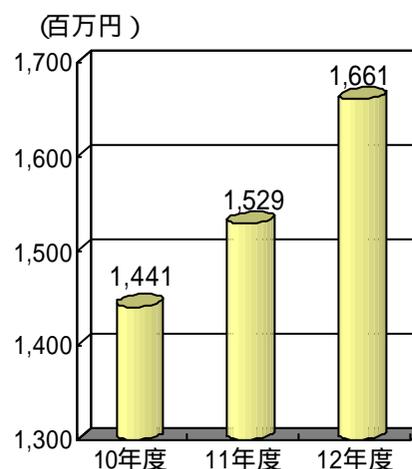
出張所を含む全店への取扱店舗の拡大、
テレホンバンキングでの取扱開始等の
販売体制の充実により、販売額、預り
残高とも増加しました。

(億円)

	10年度	11年度	12年度	前期比
投資信託販売額	13	231	799	+568
投資信託預り残 高(未残)	13	147	475	+328

▶行員一人あたり預金等

▶一店舗あたり預金等



資本効率・経営効率

自己株式取得・消却実績

株主の皆さまへの利益還元をはかるため、平成9年度に取締役会決議で可能な自己株式の消却限度を8千万株に定め、12年度までに累計で47,170千株を取得、消却しました。

	9年度	10年度	11年度	12年度	9年度から累計
取得・消却株式数(千株)	7,226	6,633	8,357	24,954	47,170
取得総額(億円)	100	91	92	233	516

生産性・平残ベース

(百万円、%)

	10年度	11年度	12年度	前期比
従業員1人当たり貸出金	1,115	1,187	1,271	8.4
従業員1人当たり預金等	1,441	1,529	1,661	13.2
1店舗当たり貸出金	25,708	26,869	27,425	5.56
1店舗当たり預金等	33,224	34,611	35,833	1,22.2
OHR(%)	65.4	64.1	67.6	3.5

業績予想

< 静岡銀行単体 >	13年度中間期予想 (億円)	前年同期比 (%)	13年度予想 (億円)	前期比 (%)
経常収益	1,070	24.5	2,100	20.3
業務純益	165	20.8	370	1.1
(一般貸倒引当金繰入前)	(193)	(13.6)	(406)	(1.6)
経常利益	145	10.3	300	4.8
当期純利益	85	13.3	180	1.8

< 連結 >	13年度中間期予想 (億円)	前年同期比 (%)	13年度予想 (億円)	前期比 (%)
経常収益	1,200	22.4	2,360	18.9
経常利益	150	7.7	310	3.8
当期純利益	85	13.7	181	2.3